

# はしらざわ

第8号 令和五年三月一日発行  
発行 柱沢地域まちづくり振興会  
編集 総務企画部会  
問合先 柱沢地区交流館 電話五七五〇八六〇

## 新年のあいさつ

柱沢地域まちづくり振興会長 菅野 政一

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年を、お迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は暗いニュースが多かったように思います。ロシア軍がウクライナに侵攻、北朝鮮のミサイル発射、我が国では、元総理大臣の銃撃事件など、そして新型コロナウイルスの感染が拡大、そろそろ元の生活に戻りたいものです。

さて柱沢まちづくり振興会も発足以来今年で九年目を迎えますが地区の皆様には振興会の事業、交流館の行事について十分ご理解いただけるように、努力してまいります。昨年は、ほとんどの事業が規模を縮小して開催となりました。今年はコロナが落ち着いて、計画通り実施出来ますように願うばかりです。そして災害や事件のない良い年でありますように念願して、新年のあいさつとします。



よ〜い! どん!



玉入れ! がんばれ〜!!



## 山神

平自治会長 渡辺紀久雄

他の地区にも『山神』を祭っていると思われませんが、平地区においても、安産と子育ての神として山神を祭っています。その始まりはいつからかは記録がないのでわかりませんが、当時平地区で女の人が少ないこと、平の清野さんが宮城県にある山神『どこに行ったかわからない』に参拝して、お札を持ち帰ったのが始まりだそうです。そこから、昭和五十一年に平部落会から男性四人で宮城県古川市美里町にある、小牛田産神山神社に参拝し、お札を持ち帰り現在に至っています。祭神は、山の女神木花之佐久夜毘売(このはなのさくやひめのみこと)で春祭りは旧暦の三月十二日と秋祭りは十月十二日の年二回行う、平地区では旧暦の十月十二日に清野家で保管されている祭事一式を持って女性のみでお祭りを現在も行っています。最後に私は今を見ると当時に戻ったと思います。



平地区にある山神



**環境防災部会長 野田 昭**

第五回となる本年度の防災訓練も昨年に続き新型コロナウイルス感染防止対策をしながらの準備となった。密室を避けるため濃煙体験(煙ハウス)は除外し、室内を予定していた「防災講話」「防災グッズの説明」も室外での実施を選択した。

訓練は水消火器による初期消火訓練で始まり、県危機管理課の遠藤様・紺野様の指導の下VR(バーチャルリアリティ)による災害(浸水・土砂・地震・津波)十三分間のプログラムを、スマホの扱いに苦勞しながらも熱心に体験した。伊達市における災害と対応についての「防災講話」は、市のハザードマップや市防災アプリについて、伊達市危機管理課の、星智雄様に話して頂いた。家庭用簡易消火グッズや耐水シート・防災バックなどを四点を展示し、部会委員菅野勝司が説明した。保原総合支所長 丹治絵美子様・富成駐在所若井崇徳様・危機管理課 加藤元晴様、他六十三名が参加した。

会場設営・訓練指導・広報活動に協力頂いた消防団員の方々、前日作業から炊き出し訓練に協力頂いた柱



消火訓練中



防災訓練開会式

沢婦人会・JA女性部の方々、交通安全協会・防犯協会はじめ各種団体の方々にご協力を頂き深く感謝申し上げます。コロナ禍でも災害は発生します。今後とも地区の皆様には、防災訓練に参加して頂き、生命を守る行動をお願いしたいと思います。

一つ一つ

柱沢体育協会会長 大河原 明

新型コロナウイルスも今だに収束する兆しが見えない中で、地区住民の健康増進の一役を、ここ数年担えていない事は大変残念でなりません。このような現状の中でも柱沢地区の方々には、体協事業にご理解を頂き、ご支援に改めて感謝申し上げます。

さて今年度においては、地区運動会の開催は難しく、体協として運動会を側面から支援する方法で参加させて頂き新しい事業の在り方ではないかと感じた所であります。

ふれあい登山も現地集合の方法を取り、紅葉の一番きれいな時期を選定した所、山の会の協力を得て二十二名の参加者で、無事に登山を行って紅葉を楽しめた事で、やはり出来る事を背伸びせず、一つ一つ時間がかかっても良いから積み上げる事が大切だと改めて感じた所です。

地区住民の方々には引き続きご協力、ご支援をお願いし結びと致します。



靈山城城跡で



国司沢にて

総務企画部会の活動

総務企画部会長 石神 政一

今年度は例年開催していた紅屋峠千本桜写真コンテストは実施されませんでした。総務企画部会としての事業は、広報誌の発行が唯一の行事となりました。昨年コロナに翻弄された一年となり各種行事が制限されてしまいました。一日も早くマスク生活から抜け出したいものです。そんな中でも柱沢地区の一年を振り返り地域まちづくりの各専門部での活動、各種団体での活動を紹介し柱沢地区の皆様への広報をする事により、地域のコミュニティの役に立てる事が出来ればと思います。

昨年は何と言っても柱沢幼稚園が休園となり、子供たちの元気で遊ぶ声が聞こえなくなりました。寂しくなりました。少子化、高齢化が着実に進んで来ており、私たち柱沢にとつて深刻な問題であると言わざるを得ない状況であります。地域の活性化の為に何か必要なのかを考える一つの機会として、広報誌【はしらがわ第八号】をご一読頂きたいと思っております。



広報誌作成考慮中



健康福祉部会の活動

健康福祉部会長 野田 源久

明けておめでとうございませう。昨年度は皆様には、いろいろとご協力、ご支援頂きましてありがとうございます。昨年度もコロナで明け暮れた一年でした。

令和四年度の事業の一つでありますウォークラリーを晴天の日十月二十三日(日)開催致しました。午前八時三十分集合九時出発で、今回は保原総合運動公園に行きました。「とまつべ」を係の方に案内して頂きました。二十五名の参加でした。ここでは誰でも利用出来るということでした。自炊も出来、格安で利用出来る場所です。パークゴルフ、フットサル場も出来ており参考になりました。参加者たちは和気あいあいと歩き、楽しい半日でした。

令和五年度も一大事業として計画を致します。是非一度参加してみてください。

今年度も宜しくお願い致します。



保原総合公園簡易宿泊所とまつべの前で



ウォーキングスタート

みんなで準備運動

### 防犯協会の活動

防犯協会柱沢支部長 菅野 賢一

柱沢地区の皆様には常日頃、防犯協会の事業活動に對しましてご協力を頂きありがとうございます。防犯予防のため、夏のお盆の時期と年末を重点に活動しております。防犯協力員の方による防犯チラシ配布と消防団幹部の方による柱沢地区内の防犯広報と巡回活動を行っています。また毎月青パトによるパトロールを行っています。毎年小学生全員によります、『防犯標語コンクール』を行いまして、令和四年度は

【最優秀賞】 清野 美羽

『あいさつで はんざい防ぐ』 柱沢

【優秀賞】 柳沼 智

『みんなだめさせ 犯罪ゼロの 柱沢』

【優秀賞】 菅野 陽生

『忘れずに いかのおすしと 柱沢』

それぞれ選ばれました。おめでとうございました。今後とも地区内の安心安全の為努めて参ります。皆様のご支援をよろしくお願い致します。



いか 知らない(知らない人について) のらな(知らない人の車に) お 大きな声で叫ぶ すばやく逃げる し 知らせる(近くの人に)

### 柱沢地区の交通安全について

交通安全協会柱沢分会長 佐藤三起夫

新年あけましておめでとうございます。昨年より年末年始交通事故防止県民総ぐるみ運動が終了し、柱沢地区内において大過なく無事終えた事を感謝申し上げます。これも柱沢地区の皆様が安全運転の心構えがしっかりと身につけておられることと思います。他方においては重大な事故、死亡事故が相次いで報道されました。特に高齢者ドライバーの交通事故が増え、私も高齢者の一員として安全運転を心掛けて運転したいと思っております。

朝の立哨活動中に通勤車両等で交通量が大変多く、通学時の子供たちを事故から守るよう充分に注意しなくてはならないと実感しているところで

交通安全週間は年間を通して行われます。運転される方は毎日が交通安全【習慣】です。皆様の無事故無違反を期待します。



福島県年間スローガン

### 消防団活動について

伊達市消防団第三分団長 清野 忠浩

今年度より私が第三分団長を拝命致しました。さて、今年度の活動としましては、五月に予定されていた、ポンプ操法大会がコロナの影響で中止となりましたが、秋季検閲と出初式は感染対策を取りながら開催する事が出来ました。

また、新たな取り組みとして機能別消防団が新設され、当分団から二名の方に入団して頂きました。三月には消防団新聞が第一回目の発行となりました。

地元の各部の活動としましては、水利と機械器具の点検を月二回行い、不測の事態に備えております。それと同時に広報による予防消防活動を行っています。

然しながら、消防団員の数が年々減少しており、ラッパ隊を含めた新入団員の確保が必要となっております。ですので、団員確保のご理解とご協力をお願い致します。



重要文化財保護防火訓練 電岡邸にて



### 柱沢寿会の活動について

柱沢寿会連合会会長 清野 喜一

新年あけましておめでとうございます。年間を通して、コロナとの対策をしながら寿学級を開催してまいります。昨年は初めての塗り絵教室を、講師山田先生の指導を頂き、十三名の参加をいただきました。作品は和室に展示しております。

グラウンドゴルフも週二回練習をしています。町の大会も春と秋に開催されます。地元でも会員同志の大会もしていますので寿会に入り、参加をお願いいたします。

十月に研修旅行を、北塩原のホテル観山で、親睦会も開き、カラオケにて盛り上がりました。翌日は酒蔵を見学し、昼食をとり、スカイラインの秋の素晴らしい紅葉を見て帰途につきました。令和五年もコロナの対策をしながら取り組んで参ります。



講師山田先生の指導風景



ぬり絵作品



### 柱沢小学校環境整備

柱沢小学校PTA会長 渡辺 一志

柱沢小学校は、毎年児童数が減少しています。それに伴い学校周辺の環境整備が保護者だけでは行き届かず、今年も地区自治会の皆様にもご協力を頂きました。お陰様で子供たちが快適に過ごせる環境を整える事が出来ました。感謝申し上げます。

小学校周辺の千本桜は春に多くの花見客が来ます。私が消防団で駐車場の警備をしていた所、花見客に『この小学生は、毎年綺麗な桜を見られて幸せだね』と言われました。当たり前に見えている風景も他の地区の人たちからすれば恵まれて見ると分かり、改めて素晴らしい環境で生活していると感じました。

今後も地区の皆様にご協力を頂きながら、小学校周辺の素晴らしい環境を残せるように、柱沢小学校を見守っていただければ幸いです。



校庭周りの草刈



校舎の窓拭き

### コロナに負けるな

保原地域青少年育成推進協議会柱沢ブロック長 野田 昭

柱沢推進協議会は四ブロック(高野平・台八幡台・四十九院・所沢)で、それぞれは行政推進委員・PTA・民生委員で構成されています。年度の活動計画(所沢ブロックでは育成会子供会・毘沙門天太鼓保存会練習・地区運動会・盆踊り発表会・祭礼参加)を立てて推進。保原地域青少年育成推進協議会の事業として『わたしの主張発表会』伊達市青少年推進大会』があります。

所沢上・下育成会ではここ数年合同で行事を計画し、月館花工房にて昨年『うどん打ち体験』、今年はクラフト体験『森の時計作り』を体験しました。令和二年度からの新型コロナウイルスによって、学校と地区の各種団体で実施する大運動会はじめ、太鼓の練習も祭礼行事も中止か役員のみ行事となつて、子供たちが大声で応援する声も、汗を流して太鼓打ちを練習する姿も奪っていった。

貴重な年代での行事体験が閉ざされた。特に地域の伝統芸能に落とす影響は大きい。一日も早く新型コロナウイルスが終息し、子供たちの元気な声が戻ってくることを心から願って。



わたしの主張発表会



クラフト体験「森の時計作り」

### 柱沢ひととせ会

柱沢地区交流館 松浦 由美

今年度より『柱沢ひととせ会』として講話や講習会を開催してきました。ひととせとは春夏秋冬を意味し、一年を通して地域の方が誰でも気軽に参加、集える会として開催しました。

今年度は六月にちまき作り教室、九月に落語・マジック・三味線、二月に住職講話を聴講しました。来年度も『暮らしの保健室』と同様に継続していきたいと思っていますので、皆様のご参加をお待ちしております。



初音家おと丸さんの三味線



ちまき作り教室



マネーシローさんのマジック

### ふりかえって

柱沢婦人会会長 大戸 ひで

令和四年もコロナ感染拡大防止を考慮しながらの活動となりました。今年度も各自治会長、町内会長様にお世話になり、柱沢地域の敬老対象者の皆様にささやかですが記念品を配布させていただきました。

十一月に会員親睦のパークゴルフを開催しました。短い時間でしたが、お天気も良く有意義に過ごすことが出来ました。十二月『門松づくり』昨年同様、ボランティア協会遠藤利夫様を講師に多くの会員参加で開催しました。苦労した所もありましたが、個性豊かな門松が出来上がりました。会員募集しております。お声掛けください。

令和五年、穏やかに過ごせませう様に・・・ご理解、ご協力に感謝し活動したいと思います。



門松作成中...



出来た門松の前で

### J A 女性部柱沢支部活動

柱沢 J A 女性部長 松浦千江子

今年の柱沢支部活動は、おいしいコーヒーの飲み方、ヨガ教室、『フラワーアレンジメント』教室を開催しました。

おいしいコーヒーの飲み方では、豆の分量と、お湯の注ぎ方、中心から外側に向かつて『の』字を描くように注ぎ、まんべんなくお湯をいきわたらせることを習いました。一人一人自分で淹れていろいろな味を楽しむ事が出来ました。

十月にはヨガ教室を柱沢支店の二階和室で三時から行いました。『伸びて』『ゆるめて』『深呼吸』『スツキリヨガ』です。始めて参加した人も有り、とても良かったですね！

十二月はお正月の花を、花茂里さんの指導のもと開催しました。人数

### 編集後記

今年の干支、卯は十二支の四番目のうさぎ年です。うさぎは小さい体で大きく跳ねることから飛躍や発展をもたらし、金運にも恵まれるといわれています。

柱沢地域まちづくり振興会の各部会では、防災訓練、ウォーキング、昔ばなしの聞き語りなどの活動を行いました。参加者も多く、コロナ禍でも活動を継続する大切さを感じました。活動を通して地域が大きく飛躍することを願うばかりです。広報誌『はしらざわ第八号』の発行にあたりご協力頂いた役員、関係者の皆様には深く感謝申し上げます。

柳沼 吉隆



松久里(アグリ)珈琲さん講師に...



お正月花アレンジメント